アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.174/2021 年 7 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第174号をお届けします.

【１】 一種研開催報告

一種研が7月28日から3日間開催されました. 本来は帯広商工会議所を現地とするハイブリッド開催の予定でしたが, 緊急事態宣言の発令を受けて, 残念ながら完全オンライン開催となりました.

今回は, 宇宙・航行エレクトロニクス研究会（SANE研), 衛星通信研究会（SAT研）との合同開催であり, 合計37件の講演がありました. この中には, AP研のチュートリアル講演, URSI-Fの特別講演, IEEE AP-S Tokyo Chapterの特別講演各1件も含まれます. AP研チュートリアル講演では, 北海道大学の日景隆先生より, 建物詳細モデルや屋外など, 大規模FDTDシミュレーション事例を紹介いただくとともに, スーパーコンピュータ利用時のノウハウ等も紹介いただきました. URSI-Fの特別講演では, 室蘭工業大学の北沢祥一先生より, 観覧車, 作業者, 高架などを利用した上空の電波環境測定や画像を利用した建物群のモデル化など, 無人航空機の飛行エリアでの電波環境に関する興味深い研究成果を講演いただきました. IEEE AP-S Tokyo Chapterの特別講演では, 情報通信研究機構の辻宏之様から, 非地上系ネットワークにおける5G/B5Gに向けた無線通信の研究開発と題して, 近年の衛星通信の動向, 光衛星通信技術の動向, HAPS（成層圏プラットフォーム）開発など, 最新情報を講演いただきました.

【２】 ソサイエティ大会情報

2021年電子情報通信学会ソサイエティ大会が9月14日～17日に開催されます. それに先立ち, 去る7月9日にプログラム編成会議をハイブリッド方式で行いました. AP研関係の投稿件数は合計141件と, コロナ禍でソサイエティ大会の総投稿件数が大きく落ち込む中, AP研関係のセッションにはたくさんの投稿をいただきました. ありがとうございました. 内訳は, B-1A：20件, B-1B：59件, B-1C：45件, BS-1：5件, BS-2：12件という状況です（投稿の件数であり, 実際の発表件数は若干異なります).

プログラム編成作業は, 完全対面方式であっても大変な作業です. 参加経験のある方はご存じかと思います. 最近は, これをハイブリッド方式で実施しており, プログラム編成委員の方々のご足労に感謝申し上げます. ソサイエティ大会そのものは完全オンラインで実施されます. 皆様, 積極的に参加いただき, 活発なご議論をよろしくお願いします.

【３】 企業・学生交流イベント（10月AP研初日）発表募集開始

昨年度に引き続きまして, 10月A・P研（研究会：10/7-8, ハイブリッド開催）において完全オンラインで企業・学生交流イベントを実施します. 概要は下記のとおりです.

[企業の方]

・企業および研究機関における取り組みの紹介
　　→15分程度のプレゼン, 予稿なし.

[学生の方]

・ご自身の研究について, ポスターを用いて, 主な聴講者である企業の方に説明する.

（原稿必須ですが，ポスター資料を張り付けた簡易なものでも可です.）
・企業の取り組みのプレゼンに参加して質疑する.
・優秀な発表者には賞が授与されます.
参加方法や詳細は，AP研HPの[研究会・イベント]→[学生と企業との交流イベント]に掲載されています.
また，AP研HPの「最新のお知らせ」→[AP-NET1319]にも具体的イメージ等が掲載されています.
申し込み締め切りは【8月10日（火)】です．この機会にぜひお申し込みください.

【４】 副委員長の戯言

＜その１＞コロナのことばっかり書いても仕方ないのですが，7月研究会は，本来であれば帯広商工会議所で開催される予定でした．帯広といえば，現AP研委員長の山田先生の出身地です．もしかしたら，山田委員長生誕の家を見学できたかもしれないと思うと，これまた残念です.

7月29日（2日目）の夜には3研専合同のオンライン懇親会が開催されました．AP研関係者だけのオンライン懇親会では参加メンバーが固定化しつつありますが，今回は3研専のメンバーからそれぞれ参加いただき，いつもとは少し異なる雰囲気で懇親を深めることができました．Zoomのブレイクアウトルーム機能を利用しての少人数会話を試したところ好評でした．オンラインではあっても互いの顔を見ながら懇親を深めると，翌日（3日目）の研究会は理解が深まったような気がします.

オンラン懇親会の様子

＜その２＞私（藤元）が「AP研からのおしらせ」を書いて皆様にお届けするのは，今回で3回目です．実は，前回の「お知らせ」を公開した直後の内容には間違いがありました（現在は修正されています)．間違いに直接関連する当事者から怒りのクレームをいただきました．改めてお詫びいたします．ただ，私としては，「あぁ，たくさんの方々に読んでいただいているんだ！」ということを感じる出来事であり，クレームをいただいた方には大変申し訳ないのですが，ちょっと嬉しい出来事でした．そのほかにも，「読んだよ！」とコメントをいただくとこもあり，これも励みになります．今後とも，「AP研からのお知らせ」をどうぞよろしくお願いします.

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長（6月より）　　藤元美俊　（福井大学）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org（AP研執行部のメールアドレス）
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/